

2004年11月17日 第25回研究会

発表者と報告テーマ:

チュー・トゥエット・ラン(Chu Tuyet Lan)氏, 漢喃研究所(Vien Nghien cuu Han Nom)情報・資料室長

「漢喃研究所及びベトナムにおける漢喃遺産の収集・保管・研究・開発・普及事業」

グエン・タ・ニ(Nguyen Ta Nhi)博士・助教授, 漢喃研究所文字学研究室長

「ベトナムにおける17 - 18世紀の喃字の手書き本の諸問題」

グエン・ゴック・ニュアン(Nguyen Ngoc Nhuan)博士, 漢喃研究所副所長

「ベトナムの漢字の賦と『群賢賦集』」

本研究会において、ベトナムの漢籍やチューノム資料の収集・保管・研究を専門とする国家機関である漢喃研究所の研究者達が上記のテーマについて報告した。使用言語はベトナム語であり、東京外国語大学大学院生であるチュ・スワン・ザオ(Chu Xuan Giao)氏が通訳をつとめた。

チュー・トゥエット・ラン氏は漢喃研究所の歴史、組織、国内外の研究協力機関、そして史料のマイクロフィルム化やデジタル化といった最近の活動について説明し、日本の大学の研究者に協力を呼びかけた。

グエン・タ・ニ氏はベトナムでの漢字の使用の歴史や手書き本の形成過程、そして史料の収集状況等について述べ、集められたものは一部だけでほとんどの史料がまだ民間に眠っていることを指摘し、これからの収集の重要性を説いた。

グエン・ゴック・ニュアン氏はベトナムの漢字で書かれた「賦」と詩集である『群賢賦集』について説明し、「賦」の歴史や「賦」が特別なベトナム文学の一種で多くの情報が含まれていることを報告した。

数多くの参加者が集まり、活発な質疑応答の後に研究会は終了した。